

28年度 復興教育「非常時体験」活動

洋野町立向田小学校 総務

1 ねらい

- (1) 非常食を試食したり、食器を汚さない食事をしたりして、非常時の体験をすることにより、実際に行動できる力を身につける。
- (2) ライフラインが欠けた時の様子を想像しての体験である。様々な場合を想定して考えさせることで、児童の防災意識を高める。

2 期日 平成28年11月～12月 (学級活動1時間)

3 活動の内容

- (1) 非常食を試食する。
- (2) 食器をラップでくるんで汚さないようにして食事をする。
- (3) 防災頭巾をかぶり落下物から頭部を守る。
- (4) 保温シートにくるまり、体温を保つ。

4 事前指導の内容

- ① 昨年度の被災地見学の際の「ティッシュを1枚ゆずるのもためらうほどだった」というお話を想起させ、災害時の食料事情を考えさせる。
- ② 校長先生の実家のお話を想起させ、災害時の生活の大変さを考えさせる。

5 職員の役割分担

校長・・・観察・指導
副校長・・・全体計画、渉外、物品購入
各担任・・・事前指導、体験活動指導、事後指導（感想等）
太田・・・写真撮影

6 研究助成金の活用計画

- (1) 収入の部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40,000円
- (2) 支出の部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40,000円
 - ・防災頭巾（ハイグレード）(2,041円×2個)・・・・・・4,082円
 - ・非常用保温アルミシート（667円×4個）・・・・・・2,668円
 - ・カンパン（24缶入り）(6,665円×2個)・・・・・・13,330円
 - ・非常食・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10,000円
 - ・体験用防災グッズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9,920円
- (3) 残高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・0円

授業展開案

	学 習 内 容	備考（準備等）
導 入 5	<ul style="list-style-type: none"> ○電気・水道・ガスなどライフラインがストップした生活を想像させ、何が大変になるのか 発表させる。 ○本時の課題をつかむ。 「ライフラインがストップした生活を体験し、いざというときに備えよう。」(例) 	<ul style="list-style-type: none"> ・復興副読本 ・学習プリント
展 開 30	<p><前半：10分></p> <ul style="list-style-type: none"> ○食料がない時の体験の準備をする。アルファ米にお湯を注ぐ。 ○余震が続き、落下物から頭を守る体験をする。 ○暖房がなく、自分の体温で暖をとる体験をする。 ○トイレがなく、災害用簡易トイレに座る体験する。 <p><後半：20分></p> <ul style="list-style-type: none"> ○皿を洗うことができない状況を想定し、皿をラップで包む。 ○紙とビニル袋でコップを作る。 ○アルファ米を自分の皿に分けて試食する。 ○カンパンを試食する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水でも食べられるようになるが、60分かかるので、お湯を使う。 ・お湯だと15分で食べられるようになる。 ・準備：給湯ポット ・防災ずきん ・保温用アルミシート ・簡易トイレ ・準備：自分の皿、ラップ ・何度かラップで包む体験をする。 ・準備：西洋紙、ビニル袋 ・アルファ米（4人ぐらいで1つ） ・カンパン（学級で1缶）
終 末 10	<ul style="list-style-type: none"> ○非常時の生活を体験した感想をまとめる。 ○非常時に備える大切さを確認し、自分の家の「非常時の備え」について考えたことをまとめる。 ○カンパンとアルファ米を持ち帰り学校で学習した内容を伝える。 ○家族で非常時の対応について話し合い、おうちの人からコメントをもらってくる。(宿題) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数分のアルファ米、カンパン

ひじょうじ せいかつ そな 「非常時の生活に備えよう」

ねん なまえ
年 名前 _____

1 ひじょうじ せいかつ たいげん かんそう か
非常時の生活を体験した感想を書こう。

2 じぶん ひじょうじ そな
自分の非常時の備えはどうかな？

3 ひじょうじ そな ひと はな あ
非常時の備えについて、おうちの人と話し合おう。

おうちの人からのコメント